

# 万騎が原地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画  
平成28年度～32年度

万騎が原地区は、帷子川の支流である二俣川の南側丘陵地を、昭和30年～40年代にかけて開発された、戸建て住宅を主体とした住宅地です。

この5年間で人口、世帯数共に減少傾向にあり、人口構成をみると、高齢化が進んでいます。15歳から24歳、50歳から59歳、女性75歳以上の比率が高く、3世代同居家族が比較的多くみられる地区です。



### ■めざす地区の姿

・高齢者がいつまでもはつらつと暮らせるまち

・子どもの健やかな育ちと思いやりの心を育むまち

・住民一人ひとりが輝けるまち

### ■目標A

連動する区計画の柱 3 地域の取組で元気カアッ?

## 高齢者の居場所・活躍の場づくり

- ラジオ体操、ウォーキング、シニアスポーツ等の機会を通じて健康増進を図り、仲間づくりにつなげる
- 新しい趣味をもてる機会をつくったり、特技などを地域活動の場面で、活用できる機会づくりをすすめる
- 参加しやすい行事を開催し、閉じこもりや孤立を防ぐ

【(連合)自治会、地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、老人クラブを中心に】



裁縫ボランティア



敬老祝賀会でのコーラス発表



春のウォーキング

■目標B

## 地域のつながりづくりをすすめる

- 多世代が参加できるイベントを開催し住民同士のつながりをつくる
- 世代を超えての声掛けや近隣あいさつにより、お互いに知り合う関係をつくる
- 防犯・防災に強い地域をつくる
- 安心カード等による緊急連絡先の把握等により、平常時から支援の連携をつよめる  
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、家庭防災員、消費生活推進員を中心に】



芋煮フェスタ



地域の情報を発信



ふれあい運動会

■目標C

## 思いやりの心を育む地域をつくる

- 認知症の正しい理解者、認知症サポーターを増やし、地域で見守りの目を増やし支えていく
- 地域と学校が連携し、住民の様々な能力・経験を活かしながら、福祉教育を進める
- 地域行事の手伝い体験の機会拡大、ジュニアボランティア体験事業の拡充や、学齢期の担い手を育成する
- 障害福祉施設等との連携を図り、活動への協力や地域の行事への参加を呼び掛ける  
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、子ども会、障害者施設を中心に】



ジュニアボランティア@敬老祝賀会



芋煮フェスタハザードのお手伝い



万騎が原小学校50周年

■目標D

## 子どもにやさしいまちづくりをすすめる

- 自治会回覧、地域の子育てカレンダー等で、子育て関連の情報の発信をおこない、親子同士が出会う機会を増やす
- 公園等の場を活用し、多世代の交流の機会をつくり、地域で子どもを育てる意識を広める  
【(連合) 自治会、地区社協、民生委員・児童委員、赤ちゃん訪問員を中心に】



子育てひろば  
「あいうえお〜!」



昔あそび@保育園

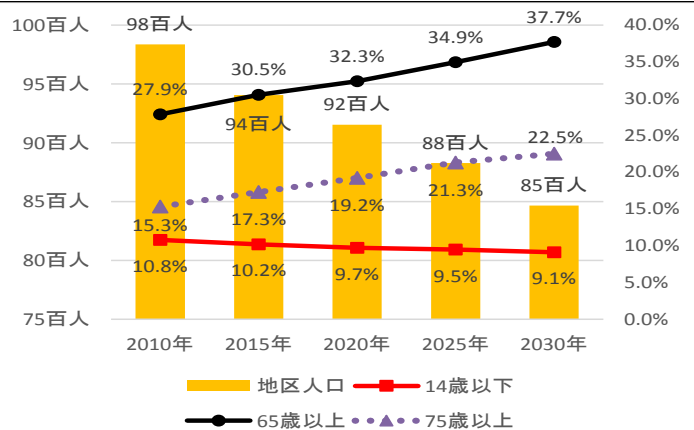
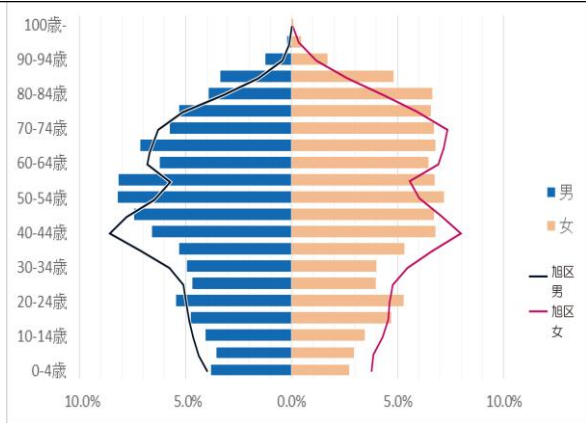


消費生活推進員による  
啓発講座

## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）に比べ、50歳から59歳、および女性75歳以上の層の比率が高くなっている一方、25歳から44歳までの層の比率が低くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間で約400人減少しています。高齢化率は2%以上増加し、旭区平均より高くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で約40戸減少しています。また、世帯人員は2015年で2.21人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約9200人、2025年で約8800人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約32.3%、2025年で約34.9%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■2期計画の振り返り

### ウォーキング&お汁粉大会

担い手ボランティア、参加者ともに増え、行事企画において「参加したい」と思える魅力を持った企画の大切さを感じた。健康づくりや地域を知ることなど住民相互の交流の機会として継続する。

### あんしんサポート手帳の発行&地区内団体台帳作成

一定の情報共有の元で会話をすることが可能になり、地区に対するあらたな認識を共有することも可能になりつつある。主体的な情報発信力が弱く、情報のメンテナンスが円滑ではない。

### 見守り活動推進事業

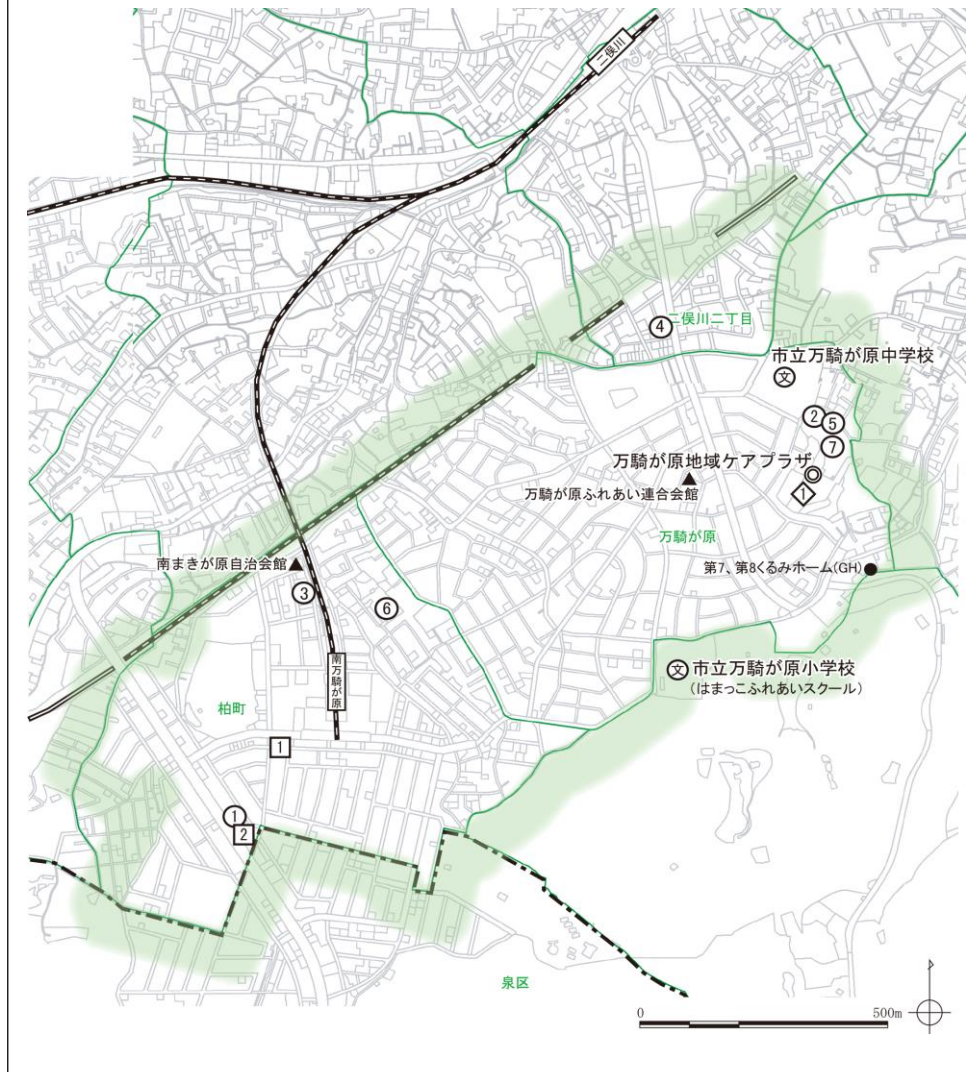
老人クラブ会員相互の関係を生かした見守り、老人クラブ非会員を意識した民生委員の見守り、また、相互の日常的な交流の場としての「たまり場・サロン」活動の多様なあり方について、研修会などを通して、認識を深められた。

## ■地区の福祉課題

- 1 認知症の人は、自ら支援を求めることが難しいため、地域における認知症の理解と、見守りや支援が充実するとよい。
- 2 単身世帯が増え、遠方に住んでいる家族との連携がとり難く、一人暮らしの方の緊急時の対応に苦慮している。地域の情報を適切に発信し、地域の中で見守りのネットワークをひろげていく。
- 3 介護予防、転倒予防、ラジオ体操など健康増進に心がけ、地域全体で健康に向けた取組みを継続する必要がある。参加者がいつも同じ傾向があり、新たな参加者を増やす工夫が必要。
- 4 老人クラブへの参加を増やしたり、地域の居場所を増やすことで、地域の顔の見える関係づくりを広げ、地域でみんなが活躍できる場づくり。
- 5 高齢者の個人差は大きい。高齢者個々の尊重、認知症の適切な対応など、子どものころから地域での福祉教育が必要。一方、高齢者からも経験や特技を生かした関わりができないか。
- 6 公園の規制などにより子どもが自由に遊べる場が少なくなっている。地域で子どもを育てる意識を持つ工夫ができないか。
- 7 保育園の園庭開放や子育て支援情報など、必要な人に必要な情報がもっと届くように。
- 8 現在あるジュニアボランティアを中学生・高校生にまで延長するなど、ボランティア活動経験者を増やす取組ができないか。
- 9 障害福祉施設のパンの製造・販売がおこなわれているが、地域住民となお一層、幅広く繋がることできないか。
- 10 ボランティアとして地域で活躍できる場の開拓と、ボランティアの養成。



## ■福祉保健施設の分布



## ■施設リスト

子ども

### 認可保育所

- ① 横浜市立柏保育園
- ② まきが原愛児園
- ③ のぞみ保育園

### 横浜保育室

- ④ 夢未来二俣川園

### 放課後児童クラブ

- ⑤ フレンドクラブ

### 幼稚園

- ⑥ 柏幼稚園
- ⑦ まきが原幼稚園

障害者

### 就労支援センター

- ① 横浜西部就労支援センター

### 障害者地域活動ホーム(地域作業所)

- ② 連(れん)

高齢者

### 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- ① グリンサイド清盛